

1 単元名 かけ算(2)

2 単元の見積

- ・九九のよさが分かり、進んで九九を構成したり用いたりしようとする。
(算数への関心・意欲・態度)
- ・アレイ図や、かける数が1増えると積はかけられる数だけ増えることを使って、九九を構成することができる。
(数学的な考え方)
- ・九九を唱えたり、それを適応して問題を解いたりすることができる。
(数量や図形についての技能)
- ・アレイ図を使った九九の構成のしかたが分かる。また、かけ算が用いられる場面が分かる。
(数量や図形についての知識・理解)

3 単元について

「かけ算」は2年生の重要単元である。ここから始まる「かけ算」の学習は、中学年では、わり算へとつながり、高学年には小数や分数のかけ算へと広がっていく。

2年生の「かけ算」の学習は、具体物やブロックを並べることでかけ算の意味を理解し、5、2、3、4の段のかけ算を構成したり九九を唱えたりする「かけ算(1)」と、アレイ図を使って6、7、8、9、1の段のかけ算を構成し、九九を唱えたりそれを適用したりする「かけ算(2)」の二つの単元に分かれている。かけ算というと九九を唱えることだけに終始しがちであるが、かけ算の導入期にあたるこの時期には、かけ算の意味をしっかりと理解させることが必要である。つまり、かけ算が用いられるのは、一つ分の大きさが同じで、それがいくつ分かあるときに、その全体の大きさを求める場合であるということを押さえる必要がある。そのために、ブロックの操作やアレイ図の使用など、目に見える形でかけ算が表す意味をつかませたい。

4 児童について

(略)

5 指導について

意欲づくり部会の研究テーマは「学習意欲を高める指導の工夫」である。低学年の児童は活動性に富み、活動を楽しむものであるといわれている。そうした児童の本質に根ざす算数的活動を積極的に取り入れることによって、楽しい算数の授業を創造することが大切である。「かけ算」の指導においては、九九の唱え方を覚え、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできるように繰り返し練習させたい。そのためにただ順に唱えるだけでなく、リズムに合わせて歌ったり、九九カードを使ったり、「なぞなぞ遊び」や「カルタ遊び」などを通して九九を唱えたりして楽しく意欲的に練習できるように工夫したい。

生活の中には乗法が用いられる場面がたくさんある。「スーパーマーケット売り場で」あるいは「教室で」など身近に具体的な場面がいくつもあつた。生活と密着した乗法が用いられる具体的な場面を用意して生活に生かせる算数として問題を考えさせたい。その際、図や具体物を用いて表したり、 \times の記号を用いた式に表したりさせていく。図を描いたり、具体物を用いたりする活動を繰り返すことで、数についての感覚が豊かになると考える。

また、乗法の式から場面や問題をつくるような活動も、乗法についての理解を深め、式を用いる能力を伸ばすために大切であるので、随時取り入れていく。

6 指導計画（15時間配当）

- 第1次 九九づくり (11時間)
- 第2次 かけ算をつかった問題 (1時間 本時)
- 第3次 さがしてみよう (1時間)
- 第4次 たしかめ道場, ふくしゅう (2時間)

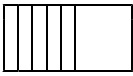

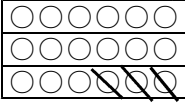
7 本時の目標

- ・乗法と加法, 乗法と減法が組み合わされた問題の場面をとらえ, その解き方を絵や図を用いて考えることができる。

8 準備物

かけ算カード, 九九カルタの読み札, ワークシート

9 本時の学習過程

| 学 習 活 動 | 支援（・）と評価（☆） |
|--|---|
| <p>○かけ算九九カルタをする。 「足八本のたこ7ひき全部で足何本」 「6枚入りのガム3こ全部で何枚」 「1週間は7日間, 4週間で何日」 「9円の色紙6枚でいくら」</p> <p>○学習問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>9円の色紙を6まいと80円ののりを買いました。 みんなでいくらになるでしょう。</p> </div> <p>○学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どんな計算になるのか, 絵や図をかくて考えましょう。</p> </div> <p>○考え方や解き方を発表する。 ・○○○○○○ と □ $9 \times 6 = 54$ 9円が6まい 80円 $54 + 80 = 134$</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="text-align: center;">  1まい9円 </div> <div style="text-align: center;">  80円 </div> </div> <p>○練習問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>6まい入りのガムが3こありました。3まい食べるとガムは何まいになるでしょう。</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 20px; margin: 5px 0;"> <div style="text-align: center;">  $6 \times 3 = 18$ $18 - 3 = 15$ </div> </div> <p>○自分で3要素2段階の問題をつくる。</p> <p>○できた問題を友達同士で解き合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しくかけ算の習熟を図れるようにする。 ・文章題を解くことに慣れるようにする。 ・カルタで使った問題にたし算の問題を加えることで, 題意のイメージが湧きやすいようにする。 ・場面の挿絵を提示して題意をつかみやすくする。 <p>☆絵や図を用いて数量の関係を表そうとしているか。 (ワークシート…関心・意欲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルタで使った問題にひき算の問題を加えることで, 題意のイメージが湧きやすいようにする。 <p>☆絵や図を用いて数量の関係を表し, 乗法と減法を使って解決することができたか。 (ワークシート…考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題づくりに抵抗のある児童もいるので, 問題カードの枠を用意する。 ・どんな場面で問題がつかれるか戸惑う児童には, カルタの読み札を提示し, 考えが浮かびやすいようにする。 |

10 授業の観点

- ・日常練習しているカルタの読み札を文章題に利用したことは, 問題を解こうとする意欲を高めるのに有効であったか。